

# 魅力ある業界づくりへ

平成 25 年新年互礼会

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）の「平成 25 年新年互礼会」が 1 月 8 日、大阪市北区のラマダホテル大阪で組合会員、賛助会員ら約 60 人が出席して開催され、新たな年のスタートを祝福するとともに、今年一年のさらなる発展を誓い合いました。

互礼会の冒頭で挨拶した岩田理事長は「昨年の組合創立 50 周年式典では、寸劇やパネルディスカッションを通じて発注者や元請に鉄筋工事の重要性をアピールすることができた。また、建設技術展では 4 年連続でベストブース賞に選ばれるとともに、工業高校や専門学校など 6 校で延べ 8 回実施した出前講座も好評を得ている」と昨年の成果を紹介。そして「社会保険未加入問題についても加入促進に向けてしっかり勉強し、我々としてはどうすべきかを真剣に考え、魅力ある鉄筋工事業界づくりに努めたい」と力強く決意を述べて挨拶を締めくくりました。

引き続き、昨年新たに組合に加入した正会員の岡田鉄筋工業と金井、賛助会員のオリベと第一高周波工業の紹介が行われ、各社の代表が挨拶しました。

この後、来賓として出席した中山泰秀衆議院議員の祝辞に続いて、田浦真一副理事長の発声で全員が乾杯し、和やかな歓談へと移りました。

